

平成22年第 2回伊仙町議会臨時会会議録
平成22年 8月 9日（月曜日） 午前10時00分開議

1. 議事日程（第 1号）

- 開会の宣告
- 開議の宣告
- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 会期の決定
- 日程第 3 議案第32号 平成22年度伊仙町一般会計補正予算（第 2号）について
- 日程第 4 議案第33号 平成22年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算（第 2号）について
- 日程第 5 議案第34号 平成22年度地域情報通信基盤整備推進交付金事業（電気通信工事）請負契約について
- 日程第 6 農業委員の推薦の件

1. 出席議員（14名）

議席番号	氏名	議席番号	氏名
1番	永田誠君	2番	福留達也君
3番	前徹志君	4番	佐藤隆志君
5番	明石秀雄君	6番	樺山一君
7番	永岡良一君	8番	清水喜玖男君
9番	伊藤一弘君	10番	杉並廣規君
11番	琉理人君	12番	上木勲君
13番	美島盛秀君	14番	常隆之君

1. 欠席議員（0名）

1. 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

議会事務局長 栢山正二君 議会事務局書記 佐平勝秀君

1. 説明のため出席した者の職氏名

職名	氏名	職名	氏名
町長	大久保明君	副町長	中野幸次君
総務課長	稲隆仁君	企画課長	牧徳久君
税務課長	池田俊博君	町民生活課長	益岡稔君
保健福祉課長	松田一郎君	経済課長	樺山誠君
建設課長	上木千恵造君	耕地課長	大山秀光君
環境課長	永島均君	水道課長	中熊俊也君
選管書記長	岩井哲之助君	農委事務局長	仲武美君
教育長	亀山喜一郎君	教委総務課長	窪田良治君
社会教育課長補佐	西吉広君	総務課長補佐	
		兼財務係長	田島輝久君

△開 会（開議） 午前10時40分

○議長（常 隆之君）

ただいまから平成22年第 2回伊仙町議会臨時会を開会します。

これから本日の会議を開きます。

△ 日程第 1 会議録署名議員の指名

○議長（常 隆之君）

日程第 1、会議録署名議員の指名をします。

会議録署名議員は、会議規則第 120条の規定によって、永岡良一君、清水喜玖男君、予備署名議員として伊藤一弘君、杉並廣規君を指名します。

△ 日程第 2 会期の決定

○議長（常 隆之君）

日程第 2、会期の決定について議題とします。

本臨時会は、会期を本日 1日としたいと思いますが、ご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（常 隆之君）

異議なしと認めます。

したがって、本臨時会の会期は本日 1日と決定しました。

△ 日程第 3 議案第32号 平成22年度伊仙町一般会計補正予算（第 2号）について

△ 日程第 4 議案第33号 平成22年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算（第 2号）について

△ 日程第 5 議案第34号 平成22年度地域情報通信基盤整備推進交付金事業（電気通信工事）請負契約について

○議長（常 隆之君）

議案第32号、議案第33号、議案34号の 3件の提案理由の説明を求めます。

○町長（大久保 明君）

おはようございます。

平成22年第 2回伊仙町議会臨時会に提案いたしました、議案第32号から34号までの 3件について、提案理由の説明をいたします。

32号は、平成22年度一般会計、第33号は平成22年度伊仙町国民健康保険特別会計の既定の予算に変更が生じたので、地方自治法 218条第 1項の規定により、提案いたしました。

第34号は、平成22年度地域情報通信基盤整備推進交付金事業（電気通信工事）の請負契約を締結い

たしたく、提案してございます。

以上、32号から34号までの3件について、ご審議賜りますよう、よろしく願いいたします。

○議長（常 隆之君）

補足説明があれば、これを許します。

○総務課長（稲 隆仁君）

議案第32号について、補足説明を行います。

議案第32号は、平成22年度伊仙町一般会計補正予算（第2号）。

既定の歳入歳出予算の総額45億 1,967万 9,000円に歳入歳出それぞれ1億 211万 8,000円を増額し、歳入歳出予算の総額を46億 2,179万 7,000円とするものであります。

5ページをお願いいたします。

歳入。

款 9、地方交付税、補正前の額28億 755万円から 1,479万 8,000円を減額補正し、27億 9,275万 2,000円とするものであります。

款13、国庫支出金、3億 9,837万 9,000円に安心・安全な学校づくり交付金、太陽光発電整備補助金 1,931万 6,000円に教員宿舍建築費補助金 982万 9,000円、計 2,914万 5,000円を増額補正し、4億 2,752万 4,000円とするものです。

款14、県支出金、2億 9,697万 8,000円にふるさと雇用再生事業補助金 600万円、農業委員会補助金 208万 5,000円、共生・協働の村づくり支援事業補助金48万円、計 857万 1,000円を増額補正し、3億 554万 9,000円とするものです。

款19、諸収入、7,366万 1,000円に 8万 5,000円を増額補正し、7,374万 6,000円とするものです。

款20、町債、4億 1,790万円に小学校太陽光発電整備事業費 2,200万、教員宿舍建設事業費 1,600万、臨時財政対策債 4,111万 5,000円、計 7,911万 5,000円を増額補正し、4億 9,701万 5,000円とするものです。

歳入合計45億 1,967万 9,000円に 1億 211万 8,000円を増額補正し、46億 2,179万 7,000円とするものです。

9ページをお願いいたします。

歳出についてご説明いたします。

款 1、議会費、目、議会費、7,802万 5,000円に30万円を増額補正し、7,832万 5,000円とするものです。

款の 2、総務費、1、一般管理費は財源の組み替えでございます。

目11、ふるさと雇用再生事業費、1,000万円に 600万を増額補正し、1,600万円とするものです。

これにつきましては、堆肥センター運営事業生産組合へのふるさと雇用再生事業委託費でございます。

項の 2、町税費、目 2、賦課徴収費、362万 2,000円に 121万 2,000円を増額補正し、483万 4,0

00円とするものでありますが、指定金融機関へ移行による町税等の納付書の作り替え購入費でございます。

款の 3、民生費、目 1、社会福祉総務費、23万 2,000円、普通旅費を増額補正してございます。

10ページをお願いいたします。

款の 5、農林水産業費、目の 3、農地制度実施円滑化事業費、281万 8,000円に 175万 1,000円を増額補正し、456万 9,000円とするものでありますけれども、農地基本台帳システムの改修委託費並びに農地調査用車リース料等でございます。

目の 4、農業総務費、8,794万 1,000円に 1,706万 4,000円を増額補正し、1億 500万 5,000円とするものです。

これにつきましては、19節の負担金補助金交付金、共生・協働の村づくり支援事業費負担金、阿権地区でございますけれども、93万円、堆肥センター運営補助費 1,608万 4,000円等でございます。

11ページをお願いいたします。

項の 2、農地費、目 2、担い手育成畑地総合整備事業費 6,441万 1,000円に 266万 6,000円を増額補正し、6,707万 7,000円とするものです。

これは農道整備事業費でございます。

款の 7、土木費、目の 3、道路維持費、町道補修費として補修修繕費として 251万 2,000円を増額補正し、1,625万 3,000円とするものです。

款の 9、教育費、目の 4、教育宿舍建築事業費、伊仙小学校校長住宅を建築費として 2,636万 8,000円を計上してあります。

12ページをお願いいたします。

項の 2、小学校費、目 3、学校建築費、伊仙小学校太陽光発電設備工事請負費として 4,200万円を計上してあります。

項の 3、中学校費、目 1、学校管理費、54万 1,000円、学校の修繕費として計上してございます。

項の 6、保健体育費、目 1、保健体育総務費、AED練習用トレーナー備品購入費として 6万 3,000円を増額補正してございます。

以上、既定の歳入予算総額45億 1,967万 9,000円に 1億 211万 8,000円を増額補正し、歳出合計を46億 2,179万 7,000円とするものです。

ご審議をよろしくをお願いいたします。

○保健福祉課長（松田一郎君）

おはようございます。

議案の第33号について、補足説明申し上げます。

既定の歳入歳出予算の総額13億 1,713万 3,000円に歳入歳出それぞれ 326万 2,000円を増額し、歳入歳出予算の総額13億 2,039万 5,000円とするものでございます。

3ページの方をお願いしたいと思います。

事項別明細書、歳入です。

国庫支出金、既定の額に補正額 326万 2,000円を追加し、国庫支出金を 4億 1,267万 2,000円となるものであります。

歳出の方をお願いしたいと思います。

6ページの方をお願いします。

款の 2、保険給付費、項 1、療養諸費、 1、一般被保険者療養給付費、既定の額に55万 1,000円を減額し、 6億 3,443万 9,000円とするものでございます。

款の 8、保健事業費、 1、保健事業費、 3の国保ヘルスアップ事業であります。

これは 7月の 7日に内示額がありまして、当初予算に追加するものであります。

7の賃金費、看護士賃金、これを減額して、栄養賃金を上げたというものであります。

報償費、これは受診率向上優秀集落ということで、受診率のアップした集落に対して 1位から 5位までを順位をつけてまして報償を促して、特定健診の受診率をアップするというものであります。

旅費については、講師賃金ですね、これを減額したものでありまして、あと普通旅費は、これを国保ヘルスアップ事業に伴う県議会の予算であります。

13の委託料、ソーシャルマーケティング活動委託、これは21年度で事業が終了されておりまして、ソーシャルマーケティングといいますと、これは地域のネットワークづくりということで、行政からの一方的な情報でなくて、集落からの意見も聴取しながら健診率を上げるということで、これは活動については22年度行いますけれども、事業としては一応21年度で終了しているということでもあります。

あと、地域ケア体制整備活動等委託料ということでもありますけれども、これが 4月 7日の内示に基づいて上がってきた金額でありますけれども、これは 2つの事業がありまして、国保のヘルスアップ事業と心の健康づくり事業、 2種類ありまして、国保のヘルスアップ事業の中で 340万、心の健康づくり事業ということで 145万、合わせて 485万ということで組んでおります。

提案されたこの案件について、ご審議いただきまして可決くださるよう、お願い申し上げます。

○総務課長（稲 隆仁君）

議案第34号は、請負契約について議会の議決を求めるものであります。

1. 工 事 名 平成22年度地域情報通信基盤整備推進交付金事業（電気通信工事）
2. 工 事 場 所 大島郡伊仙町地内
3. 請負契約額 壱金12億 5,370万円也
4. 契約相手方 鹿児島県鹿児島市鴨池新町 1- 1

株式会社九電工鹿児島支店 理事支店長 武井秀樹

ご審議よろしく願います。

○議長（常 隆之君）

日程第 3、議案第32号、平成22年度伊仙町一般会計補正予算（第 2号）を議題とします。

質疑をこれから行います。

○13番（美島盛秀君）

10ページ。

農地制度実施円滑化事業費の農地調査料リース料、車のリース料なんですけど、60万ですけども、これは役場の車以外にリースをするということですかね。

○農業委員会事務局長（仲 武美君）

このリース料については、農地パトロール等、農地調査のためにするリースでございまして、単年度契約となっております 3月までのリース料です。

○13番（美島盛秀君）

農業委員会の専用と言いましょか、そういう役場庁内の公用車に利用できる車はないわけですか。

○農業委員会事務局長（仲 武美君）

現在、パトロールをするときには個人個人の車で行っていますので、今後、8・1調査等もありますので、この8・1調査等、農地パトロール等に活用していきたいと考えております。

○13番（美島盛秀君）

次に4番の農業総務費。共生・協働の村づくり支援事業の負担金。

つい先日、委員会研修がありまして、県の方でも共生・協働の村づくり事業ということでマニフェストに知事が挙げて取り組んでいるという事業だと思います。

今、県としても、国としても、各地方としても、予算がないということで、ぜひ協働・共生の事業、自立していけるためのそういう事業を計画するよという委員長研修があつて、今後は自立に向けて、われわれ議会も真剣に取り組んでいかなければならないということなんですけれども、この支援事業、内容を、どういう内容か説明を伺います。

○経済課長（樺山 誠君）

まず協働・共生の村づくり運動の3つの方向というものがございまして、まず1つ、農村集落の再生、2つ目、新たな村づくりの形成、3つ目、村づくりの推進・発展というふうな形で3つの推進方向というのがございます。

農業集落の具体的な取り組み事例を県内各地域に幅広く紹介をいたしまして、運動の普及啓発を図るというような事業でございまして。

この中で、本年度、本町においては、阿権村づくり委員会というところが事業をするわけなんですけれども、具体的な実践スケジュールという形で、看板の設置をしたりとか、花いっぱい運動をしたりとか、あと加工品の研究開発をしたりとか、村づくりの先進地の視察をしたりとか、そのような形で実施をしていく予定でございまして。

全てを申し上げますと時間的になんですけども、少々、六月灯の八幡神社の清掃、あるいは六月灯をするとか、そういう形でやっていると。

特に阿権地域においては、40～50代のUターン者が帰ってきて、園芸が盛んな地域だという農業面と、あと文化面、生活・文化面という形で六月灯の開催だとか、花植えだとか、十五夜ですね、長年

開催されておまして、こういう集落があるんだよというものを県内地域に発信をしていきたいと思っております。

以上です。

○13番（美島盛秀君）

この共生・協働というのは、昔の結いの心を持つための、持たせるための村づくり事業だと考えております。

昔は隣近所、親戚、10人も20人もお互いが集まって、結いの気持ちを持って村づくり、そしてまちづくりを、あるいは農業、除草関係、いろいろやったわけなんですけれども、また最近はクリーン作戦において、ちょっと出るのが少なくなってきたのではないかなという気がします。

そういうので、こういう事業が今後、事業の効果が出るような指導等を役場の方でぜひしっかりとしていただきたいと思います。

それから、11ページ。

担い手育成畑地帯総合整備事業費の使用料及び賃貸料。

12回目なんですけれども、役場の耕地課に以前、ユンボとダンプと購入してあるんですけれども、この重機の借上料というのはどういうのに使われるのか。

また、役場にある重機では間に合わないのかどうか、伺います。

○耕地課長（大山秀光君）

役場の重機のユンボは小さいのでございまして、この借上料は0.3大きいので、岩石を採ったりするために、こういうリースを借上料を計上している次第でございます。

一般の農道の整備等はミニユンボでできます。

○13番（美島盛秀君）

なるべく役場にある重機、ダンプ、あるいは公用車等を利用して、リース代、無駄遣いを省けるように執行部の方もぜひ努力をしていただきたいと思います。

それから、同じく11ページの教員宿舎建設ですけれども、伊仙小の校長住宅ということですが、これに関連して、農高の住宅の整備をしたわけなんですけれども、その貸し出し状況。

それから農高の校長住宅は今どういうふうな状況になっているのか、伺います。

○建設課長（上木千恵造君）

現在2ヶ所補修してありますが、2ヶ所とも満杯状態です。

○議長（常 隆之君）

他に質疑はありませんか。

○6番（樺山 一君）

12ページ。款、教育費。

伊仙小学校の太陽光発電設備工事請負、詳しく説明していただけませんか。

○教育委員会総務課長（窪田良治君）

12ページの学校建築費の中に伊仙小学校の太陽光発電の設置整備工事費がございます。

これにつきましては、現在計画をしているものにつきまして、許容量というのは大体30㎡くらい、事業の中身の金額的にもですけども、3分の1の補助を受けて実施をするところがございます。

この太陽光発電につきましては、現在、地球温暖化の原因と言われている温室効果ガスとか、それにつきまして、あとCO₂関係を排出をしない再生可能エネルギーとして地球温暖化対策に大きく貢献をいたすというところでございます。

また、太陽光発電の設備を学校で管理することで、児童生徒及び地域住民にとっても、CO₂、省CO₂、省エネルギーの効果といったものと、あと取り組み、仕組等を体感できるということで、環境学習の教材としても役立てていただくというところでございます。

そういった形で今回の事業で22年度の事業でして伊仙小学校に取り付けをしていくという形でございます。

よろしいですか。

○6番（樺山 一君）

事業の促進、そういう状況は分かったんですけども、この工事は町内の業者で工事ができる工事ですか。

○教育委員会総務課長（窪田良治君）

設計の段階まではできると思いますけど、ちょっと特殊な関係で、島内でこういった太陽光発電についての設備、それから取り付けができるかどうか、ちょっと検討していかないと、今から設計に入りますので、設計をした段階で業者さんの選定に入ると思うんですけども、専門業者になるんで、ちょっと町外になってしまうのかなということもあります。

そこらについて、また住民とも、必要であれば町内住民、電気関係に詳しい人達、工事できるものだとしております。

以上です。

○6番（樺山 一君）

今から設計をしていく段階ですので、ぜひ設計屋等とも相談して、町内業者の育成、そして今、現政権がやはり地球温暖化問題、そういうのをやはり進めておりますので、これからこういう補助金というのが出てくると思いますので、ぜひそういう道を最初の方で切り拓いて、やはり町内業者がなんらかの工事ができるような形、もしくは元請がぜひできるような形で進めていただきたいと思います。

以上です。

○議長（常 隆之君）

他に質疑はありませんか。

○12番（上木 勲君）

この事業は私も良い事業だと考えて、推進、良いことだと思うんですけど、これ、今、伊仙小学校

で年間に電気代はいくらくらい使用しておって、これを入れることによって、この30・としますと、そうして入れて、例えば電力が余ったりすれば九電に売るとか、そういった差し引き、それはとにかく余るだろうけれども、そういうのがいくらなのかとか、その辺のことについて、ちょっと説明いただきたいと思います。

○教育委員会総務課長（窪田良治君）

電気代の節減という形の捉え方をいたしますと、今現在、伊仙小学校、1年間ちょっと徳之島高等学校の跡地にいましたので前年度のあれは分かりませんが、大体30・～40・くらい、月にして10万円くらい、10万をちょっと超えるくらいですね。

電気料につきましては、使った使用の最高限度額が基本料金になりますので、その1年間の中で例えば夏場に40・使用した、それが基本料金になりますので、例えば冬場に20・使っても、それはもう基本料金が40・で基本になりますので、それを1年間通すという形になります。

この事業はまた経費の節減ということもありますけども、まず1つの目的といたしましては、経費節減が目的じゃなくて、エコという環境エネルギー、こういったものを活用できないかという周知の事業でして、モデル事業として一応導入していますので、今後これが蓄電をされて、その蓄電の量によりまして、それが今、許容範囲が30・です、ちょっと余って貯蓄して、貯蓄をした分を九電工さんに売するという形ではまだございませんので、今までの許容範囲内での発電をしていくと。

学校で利用できる範囲内の電気量を供給していくということと、あと1つは、エコについての子ども達に勉強してもらうという形で一応導入してございます。

以上です。

○議長（常 隆之君）

他に質疑はありませんか。

○7番（永岡良一君）

学校建設に関連するんですけども、現在工事中の犬田布中学校においては、この導入は考えているのかどうか、お伺いいたします。

○教育委員会総務課長（窪田良治君）

犬田布中学校も校舎建築の途中でございますが、ここについても町長の方から落成式のときに太陽光の発電という形でございましたので、今後計画して、また一応年度計画上げてございますが、今回についてはまだ採択をされてございません。

一応5年間、6年間の計画については上げてございます。

○7番（永岡良一君）

それで、エコと言うんですか、太陽光発電等はこれからもずっと出ていくと思います。

また、私達、この南徳之島では特に、この太陽の太陽熱と言うんですか、そういうものも利用できると思いますので、これから公共施設にぜひどんどん導入していただいて、その成果等を見て、また町内の、これから国や県から補助が出ておりますので、一般家庭等にもぜひ導入等をお願いしたいと

思うんですけども、そのような考えは持っておられるか、お伺いいたします。

○町長（大久保 明君）

環境問題を現政権が世界的に20年後にCO₂ 25%削減ということを宣言いたしました。

今、国の方も環境問題に関しては予算が非常に緩和されてきているようですので、学校の方は伊仙小学校からできますけれども、家屋に関しては、これは今、ちょっといろいろ調査しないと分かりませんが、新築する家屋は町が関与した補助事業があるかどうか、それもまた検討をしていかなければならないし、また、その他の従来ある公共施設に関しては、新たに学校と同じような形での補助事業が出てくる可能性は十分ありますので、これは国等の情報をしっかりとキャッチをして前向きに検討していきたいと思います。

これはちなみに、広域連合の方で今、この前、説明に来ました島の出身者、ミクニヤという会社をやっている方が、将来的には3億近い補助事業で、この伊仙町役場の上に今、コーラルを先般、敷きましたけれども、これが効果が出たというふうな文書を環境省の方に提出していけば、島内のいろんな公共施設を中心に、コーラルで屋上に敷けば、間違いなく、この庁舎内もエネルギー、電気料が少なくなってきていますので、そういうことも含めて先進的に取り組んでいけたらと考えております。

○議長（常 隆之君）

他に質疑はありませんか。

○5番（明石秀雄君）

補正で歳入歳出それぞれ出る度に交付税が増減する、理由は分かるんですが、ちなみに本年度、今の現在で何%くらい充当されていますか。

○総務課長（稲 隆仁君）

お答えいたします。

現在の27億 9,275万 2,000円は、交付税見込みの96%充当しています。

○5番（明石秀雄君）

なんで聞いたかと言うと、当初では計画されていないものが、大きな事業がもう教育委員会でも約6,000万くらい出てきます。

そうすると、当初の計画では、どれくらいそういうのが出ているのか。

財政力の観点から、いろいろ議論されるんですが、途中から出てくると、こういう問題は無視されてくる。

だから今、96というのは、この金額も入ってのことですよ。大体ね。聞いてみたんです。

6日の日に県の方でちょっと勉強したら、伊仙町の財政力というのは、全国121くらいの類似団体というのがあって、その中の121団体のうちの121くらい。これは20年度の実績なんです。

もしかすると、これが98とかなったら、にっちもさっちもいかない。

もしかすると、今後、全国でもいろんな大きな災害が出ている。

また世界的にも大きな災害が出ています。

わが伊仙町でも、こういうことがあり得るんじゃないかなと。

これから台風時期になります。そうした場合には、98、99の使っていた場合には、そういうものに対応ができなくなってくると。

できたら、今、教育委員会が出ている、こういうものが当初で出してもらって調整をしていただけないかなと思ったんです。

それで今日はそれを聞いてみました。

96だから、まだ余裕が少しはあるかなと思っているんですが。

それともう1つ。農業委員会のリース料。60万を使うのであれば、おそらくこれは来年もあるだろうと思います。再来年もあるだろう。そうすると、私はこれは車を買った方が良いと思う。

軽であれば100ちょっとで買えるんじゃないかなと。

いろんなエコのあれとか、いろんなものをすれば、総合的に考えると買った方が良いんじゃないかなと思ったりしているんですが、そのようなことは考えられませんか。

○農業委員会事務局長（仲 武美君）

この事業では、あくまでもリースという形でしかできないことになっていますので、買い取りはできないことになっています。

○議長（常 隆之君）

他に質疑はありませんか。

○5番（明石秀雄君）

これを他に一般財源でも買って、このリースを他に使う方法はないですか。

○農業委員会事務局長（仲 武美君）

今、農業委員会では、先ほども言いましたが、農地パトロール等、全部個人個人の車で使ったり行っていますので、この車をリースして、単年度ですが、パトロール等や調査等に使用したいと思います。

○議長（常 隆之君）

他にありませんか。

○9番（伊藤一弘君）

9ページの款4、衛生費、ヤスデ駆除薬品代が載っていますが、最近、カラスの方が異常発生と言うか、してますけど、そのカラス退治の方は町の方では考えられないのか、お伺いいたします。

○環境課長（永島 均君）

3年ほど前からゴミステーションのカゴを随時購入していつているんですけども、毎年10個くらいずつ購入していつて、それでもカラス対策に充てています。

あと各集落の区長さんに環境課の方から報償費としていくらか差し上げているんですが、そのためカラス対策とか、ゴミステーションの散らかったゴミとかを掃除したりする費用に充ててもらったりもしています。

当面はカラス対策としては黄色いネットを購入してやってもらったりはしていますが、何年か後には 100%、カゴのステーションが設置できる予定にはしております。

○9 番（伊藤一弘君）

農産物にも被害が出たということも聞いておりますが、これはやはり退治と言うのか、それはイノシシとかいうのは有害駆除があつたりして今やっておるんだらうと思いますが、カラスというのはやはり飛ぶ鳥で、なかなか難しいとは思っておりますが、ゴミ処理のときに見受けられますが、よくゴミ袋を食い散らしたりとか、非常にそういうのをよく見受けられます。

その黄色いネットというのは、この町の方から提供と言うのか、やっているわけです。

○環境課長（永島 均君）

提供はしてないんですけども、一応欲しいというのがあれば町の方で購入して、報償費として差し上げているお金の方で集落の方で買ってもらっています。

環境課の方で購入をしていますけども、それをまた更に集落の方で購入していただいていますけども、環境課から購入という形で。

○9 番（伊藤一弘君）

環境課の方からのお金で購入ということですか。

はい、分かりました。

はい、終わります。

○議長（常 隆之君）

他に質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（常 隆之君）

質疑なしと認めます。

これから議案第32号について討論を行います。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（常 隆之君）

討論なしと認めます。

これから議案第32号について採決します。

お諮りします。

議案第32号については、原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（常 隆之君）

異議なしと認めます。

したがって、議案第32号、平成22年度伊仙町一般会計補正予算（第2号）は、原案のとおり可決することに決定しました。

日程第 4、議案第33号、平成22年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算（第 2号）を議題とします。

質疑を行います。

○7 番（永岡良一君）

6ページのこの国保のヘルスアップ事業なんですけども、受診率、今年は全体で何%くらいの受診率だったですかね。

○保健福祉課長（松田一郎君）

現在のところで約36%くらいですけども、まだ脱漏検診とか、今後、受けていない方に対して通知していきますので、最終的な結果というのは大体 1月頃を目処としていく予定にしております。

ちなみに、平成24年度には受診率が65%達成ということは厚生労働省から目標として掲げられております。

以上です。

○7 番（永岡良一君）

65%以上の目標ですから、ぜひ、これは集落の方々への各区長会とかのときに、ぜひそういうのを周知徹底していただいて、やはりこの65%達成のためをお願いしたいと。

そして、この報償なんですけども、各集落、受診率の 5集落というのは、現在のところ、どの集落がこの 5番目まで入っているんですか。お伺いします。

○保健福祉課長（松田一郎君）

上位の分析した資料がちょっと今、手元にありませんけれども、また後もって皆さんに提示したいと思えます。

集落ごとのやつをまとめたやつを出します。

○7 番（永岡良一君）

やはりそういうもので各集落の方も、じゃあ、今回はということになって、報償はいくらか分かりますけども、そういうのはやはり気運を上げるためにも、ぜひ区長会等でこういうものを65%以上なるように、それぞれ体、健康は自分のためですので、そういうことは地域に、町民にしていきたいものです。

終わります。

○議長（常 隆之君）

他に質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（常 隆之君）

質疑なしと認めます。

これから議案第33号について討論を行います。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（常 隆之君）

討論なしと認めます。

これから議案第33号について採決します。

お諮りします。

議案第33号については、原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（常 隆之君）

異議なしと認めます。

したがって、議案第33号、平成22年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）は、原案のとおり可決することに決定しました。

日程第5、議案第34号、平成22年度地域情報通信基盤整備推進交付金事業（電気通信工事）請負契約を議題とします。

これから質疑を行います。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（常 隆之君）

質疑なしと認めます。

これから議案第34号について討論を行います。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（常 隆之君）

討論なしと認めます。

これから議案第34号について採決します。

お諮りします。

議案第34号については、原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（常 隆之君）

異議なしと認めます。

したがって、議案第34号、平成22年度地域情報通信基盤整備推進交付金事業（電気通信工事）請負契約は、原案のとおり可決することに決定しました。

△ 日程第6 農業委員の推薦の件

○議長（常 隆之君）

日程第6、農業委員の推薦の件を議題とします。

お諮りします。

議会推薦の農業委員は1人とし、伊仙町佐弁69番地3 宮永 誠君を推薦したいと思いますが、ご

異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（常 隆之君）

異議なしと認めます。

したがって、議会推薦の農業委員は 1人とし、伊仙町佐弁69番地 3 宮永 誠君を推薦することに決定しました。

これで本日の日程は全部終了しました。

会議を閉じます。

平成22年度第 2回伊仙町臨時議会を閉会します。

お疲れ様でした。

閉 会 午前 11 時 50 分